

令和 8 年熊本地震による被災状況報告

令和 8 年 8 月 8 日

八代神社（妙見宮）

宮司 小林 雄彦

1. 地震の概要

令和 8 年 7 月 28 日、熊本地方を震源とする地震が発生し、当神社においても強い揺れ（震度 6 強）が観測されました。

地震発生後、直ちに境内及び社殿等の安全確認を行ったところ、社殿をはじめ、境内施設や石造物等に複数の被害が確認されました。

2. 主な被災状況

社殿関係

- 本殿 専門家に調査依頼中
- 幣殿 柱の歪み
- 拝殿 半壊、床に亀裂・破損

境内施設

- 楼門・絵馬堂・手水舎 倒壊
- 石灯籠・狛犬等 倒壊、破損
- 玉垣・石垣 一部崩落
- 参道及び境内地 亀裂、陥没

その他

- 社務所・参集殿 一部損傷
- 電気、水道設備 一部損傷

3. 発災後の対応

地震発生後、参拝者及び関係者の安全確保を最優先に、境内への立入規制及び危険箇所の確認を行いました。

その後、社殿及び境内施設の被害状況を確認し、二次被害の防止を図るため、破損箇所の応急措置や危険物の撤去等を実施しました。

現在も危険箇所への立入規制を行っております。

4. 復旧について

今回の地震による被害は、境内を日奈久断層が通っていたため、断層による地面の亀裂、隆起にとどまらず、社殿の損壊や楼門の倒壊など甚大な被害となりました。

また、社殿及び手水舎は県や市の指定文化財となっておりますので、今後は調査を行った上で復旧作業に取り掛かる予定となります。

5. 今後について

復旧には相当の時間と費用を要することが見込まれます。

本当に有難いことに、発災直後より多くの方々から義捐金についてのお問い合わせをいただいております。

8月中にはホームページにてお知らせできるようにいたしますので、申し訳ございませんが今しばらくお待ちください。

今回の地震により神社は大きな被害を受けましたが、氏子・崇敬者の皆様、地域住民、関係機関の皆様と力を合わせ、一日も早い復旧・復興を目指してまいります。